

ボランティア通信 第5号

発行日 平成23年 9月28日
発 行 ボランティア委員会広報係

国立病院機構新潟病院
連絡先は末尾

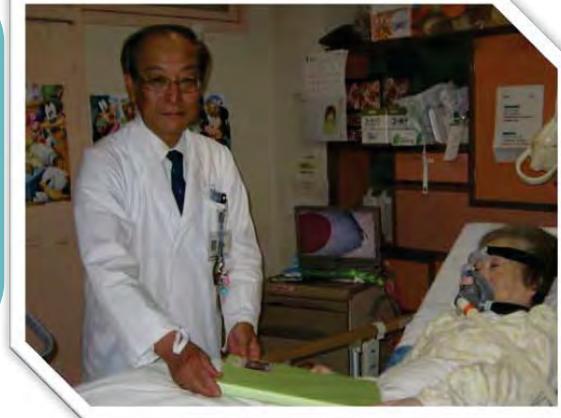
ふれあい展示での受賞の感想

Y・T 4病棟

僕が受賞するなんて、夢にも思いませんでした。この賞は、展示に出したみなさまにゆずりたいくらいです。こんなにすばらしい賞がもらって本当に嬉しかったです。ありがとうございました。

小出 勝治 12病棟

図らずも3回目の受賞に驚いています。これからもOTの時間を楽しみにしています。ありがとうございました。



柏崎大花火大会に参加して

「介助ボランティア」 柏崎地区断酒新生会 小市 圭雄

7月26日、14病棟入所者の友と花火観賞に同行しました。S様も少しの間、移動されていた新潟の病院から戻られ、古巣の感覚が思い出されたのでしょうか、静かに観賞されて居られたので安心しました。又、過去に何回も個人で花火を提供されて居られたF様が都合悪く参加されませんでしたので少し寂しく思いました。

又、養護学校の児童が観に来ておりました。カメラを持ちガラス越しにシャッターを押しています。楽しい写真が撮れると良いですね。窓越しでなく現地で観たいですね。福祉バスで移動が出来ればと思います。色々の関係の方々との調整やお願い等、難しい面も多々有ると思いますが良い方向に進めたいです。最後に希望を申し述べましたが、宜しくお願い致します。短い時間でしたが楽しい時間を有難うございました。来年も元気な姿でお会いしましょう。

小市さんには毎年、花火見学会でお手伝いを頂いているボランティアさんです。参加されての感想を頂きました。



ボランティア活動状況報告 (H22年度)

登録者数は45名 (H21年度は38名) であり、延べ活動者数426名 (延べ活動時間約1,213時間) でした。登録者の内訳は個人が16名、団体が2団体で29名で、登録団体である「楽友会」と「光ボランティアグループ」は長年活動を継続されており、当院のボランティアの中心的存在となっています。

当院のボランティア活動は、行事やサークル、趣味活動などへの参加が定期的にあり、活動内容も具体的である場合が多いのが特徴です。また、演奏などの慰問活動も恒例となっており、何年にも渡り活動を継続してくださる場合が多いことも特徴といえます。更に最近の傾向として患者さんの個人活動(音楽や英会話、外出など)を支援してくださるボランティアさんが徐々に定着してきています。



音楽サークルでの様子

今年の中央廊下風景

重症心身障害病棟の患者さまが、中央廊下のよしずに療育活動で製作した「あさがお」「お魚さん」の作品を掲示しました。廊下を通った皆さま気がついて頂けましたか？これからも通った皆さんに少しでも涼しさが届ける事を願って掲示していく予定です。

重症心身障害者
病棟の患者さま
の作品です



私の趣味はカメラの撮影と写真の編集です。

撮影は一ヶ月一回程度行って、カメラサークルで主に撮影しています。撮影場所は病院の敷地です。限られた場所での撮影なので、目線を変えたり、シャボン玉や霧吹き、セロハン等を使ったりして面白い写真を撮影しています。

写真の編集はパソコンの画像編集ソフトを使い、撮影した写真を切り取ったり、写真に詩や短歌、絵をいれたりしています。

今後も工夫して面白い写真を撮影したいと考えています。

Y・Tさまの
作品です



「海の風景」

海をイメージして療育活動で製作した作品です。生活の中で楽しみながら作った作品が、中央廊下の簾を飾り、多くの人たちの目に触れて楽しんでいただける事をうれしく思います。暑さが続くしばらくの間、私たちが作った作品をぜひご覧になり「涼」を感じて頂ければ幸いです。

療育活動で海
をイメージして
作成した作品
です



ボランティア募集

問い合わせ先（担当吉田）
新潟病院ボランティア委員会

電話 0257-22-2126（代）

FAX 0257-24-9812

E-mail : sodan@niigata-nh.go.jp (医療連携相談室)

sidositu@niigata-nh.go.jp (療育指導室)

